



Muse



琵琶湖畔でのフレッシュマンキャンプに弾む学生たち(2009年4月5日、滋賀県高島市マキノ町で)



CONTENTS

中村孝義理事長・学長が新年度の抱負……………2・3

クラリネット五重奏コンサート/フレッシュマンキャンプ ほか……………10・11

- はびきの市民大学・聴講記④ ……………3
- 大阪音楽大学・短期大学部入学式/音楽幼稚園入園式 ……………4
- 6月 7月 8月 学校法人大阪音楽大学の催し ……………5
- オペラハウスの催し/College Information ……………6
- 高橋浩子教授が最終講義/オペラ「イドメネオ」の見どころ ……7
- 連載「校史点描」<7> 一石二斗と格闘 ……………8
- ピアノ特別講義/ジャズピアノセミナー ……………9
- 中村恵理さん、英国でネトレブコの代役を務め絶賛浴びる ……12

- 望郷の日本女性に歌の贈り物/歴史誇るワイマール・リスト音大…13
- 授業紹介 佐治晴夫講師の大学院「芸術文化の諸相」……………14
- 短大卒業・修了生が神戸親和女子大学へ推薦で編入可能に……15
- 入試ナビ 受験講座(夏期) ほか/音楽院のひろば……………16
- ジャック・ランスロさんを偲ぶ/露の五郎兵衛氏死去……………17
- 西岡名誉教授が秘蔵楽器を音楽博物館に/コンクール入選 ……18
- 幸楽会後援演奏会/大阪音楽大学後援演奏会ほか……………19
- 学生オペラTutti2009/豊中市でオベ管が演奏 ほか……………20

西岡信雄前理事長の後任に4月1日から中村孝義学長が理事長に就任しました。そこで、中村理事長・学長に兼任についての考え、抱負、教
学面、将来像などの抱負を聞きました。

中村孝義理事長・学長の抱負

——学長と理事長を兼任される
ことになりました。兼任について
どのような考えをお持ちですか

兼任することになって2カ月近
くが経ちました。もちろん仕事量
も責任も一段と重くなりました。
しかし私立だけでなく、国公立大
学法人などでも、理事長と学長を
兼任する方が多くなっているのは、
現在のような困難な状況下にあっ
ては、いかに意思決定をスムーズ
に行い、迅速にことを進めるかが
問われているからでしょう。兼任
によるリスクは当然あるとは思
いますが、理事会や評議員会、執
行部や教職員の皆さんに支えてい
ただくことによってリスクを克服し、
メリットを最大限生かして現在の
厳しい状況を乗り越え、学校法人
大阪音楽大学の将来の発展の基盤
をより強固なものにするため全力
を尽くしたいと思っています。

——兼任された今、抱いておら
れる抱負を聞かせてください

在學生、卒業生、志願者の方々、
彼らを支えていただいている保護
者の皆さんや、さらにはその背後

に控える地域や社会のすべてが、
大阪音楽大学にとつての大切なス
テークホルダー（顧客、利害関係

全学挙げステークホルダーに対応



者）であるということ、まずし
っかりと全教職員が認識すること
を重要課題にしたいと思っていま
す。今や大学は、どんな大学であ
ろうと、ステークホルダーから評
価され、愛されない限り、その将
来はありません。

教員であろうと職員であろうと、
大阪音楽大学に帰属するものすべ

てが、ステークホルダーに対して
説明責任を負っています。私はそ
の担当ではないからそれは知りま
せん、関係ありませんでは、もう
許される時代ではないのです。ス
テークホルダーから見れば、大阪
音楽大学の教職員は全て等しく大
阪音楽大学の顔です。すべての教
職員がステークホルダーから求め

られる説明を十分に果
たす責任があるのです。
そして教職員のそうし
た責任ある姿勢こそが、
ステークホルダーの皆
さんが大阪音楽大学に
関われて良かったと思
える最も重要な要因に
なります。この意識を
全教職員がどのように
共有できるかが、大阪
音楽大学の将来を左右するといっ
ても過言ではないと思います。

ただ一言付け加えれば、これは
何も迎合するということではあり
ません。ステークホルダーに納得
してもらえような説明が、丁寧
に親身をもって行えるということ
が重要なのです。そのためには、
FD・SD（教職員の資質開発活

動）を通じて教職員の意識を高め
ると同時に、ステークホルダーに
対応しやすい組織の手直しも必要
だと考えています。

——今、卒業生を重要なステ
ークホルダーと位置づけられました
本学を卒業していく時、また帰
ってきたいと思えるような大学、
また卒業生がいつでもまた帰ら
いと思えるような大学、
つまり卒業生が大切に思い、
愛し、いつも帰りたいとい
つて評価していただけるよう

な大学でなければ、大阪音楽大学
の将来はないということです。そ
の意味で私は、今以上に卒業生や
その組織である幸楽会とも連携を
図り、卒業生を支援し、大阪音楽
大学によって培われた様々な力が
社会というステークホルダーの中
にしっかりと根付くことにも力を
注ぎたいと思っています。

——教学面についてはどのよう
にお考えですか

今年が学長に就任して4年目に
なります。これまでの3年間に
新入生のための導入教育、オー
ンレックスン制度、オフィスアワ
ーなどの導入、学長特別講義、産
学連携講座の開講、カリキュラム
や開講科目の見直し、学生を支援す
る給付奨学金制度、留学制度、国
内外提携校の拡大など、様々なこ

とを実現してきました。創立者・永井幸次先生が掲げられた高邁な建学の精神を常に念頭に、今までの方向を推し進めることについて私の考えに変わりはありません。そして、今年はカリキュラム総合戦略チームをより積極的に動かし、近い将来に向けてカリキュラム時間割、セメスター制などを絡めた抜本的なカリキュラム改革に手を付けたいと考えています。いずれにしても、学生たちが大阪音楽大学で学べてよかったと思える学習環境を少しでも充実したものにすることが私の最も重要な課題です。

大阪音楽大学が保有する様々な人材や音楽資源を地域や社会に還元していくことも大切な課題で、付属音楽院なども連動しながら、様々な知恵を絞って、社会人や地域、若年層の教育にも新たな試みを展開したいと考えています。

——最後に大阪音楽大学の将来像についてお聞かせください

ご存知のように2015年に大阪音楽大学は創立100周年を迎えます。これはわれわれにとって大きな節目です。この節目を迎えるに当たって、私は大阪音楽大学が、大阪で唯一の音楽単科大学であることを大事にしたいと思いません。関西では音楽学部を持つ大

学は他にもありますが、学生も教職員も、すべてのものが「音楽」という一つの対象に強い情熱と誇りを持って相対しているのは本学が唯一です。そしてこのことがどれだけ音楽を目指す学生たちに大きな力となることでしょうか。

単科大学はとかく専門に偏りがちで汎用性がないと思われがちですが、それは間違いです。一つのものに情熱を傾けたことがある人は、実はどのような対象にも同じように情熱を注ぐ力を獲得します。ローカリティーが極まったものが普遍性を獲得するように、専門に情熱を傾け極める努力をしたものは、実は高い汎用性を獲得しているのです。

私は大阪音楽大学が、すべての学生、教職員が、深い教養に裏打ちされた、高度の専門性を目指してしごを削り、結果的に音楽家はもちろん、社会に対して高い汎用性のある人材を育てる大学になることが理想です。われわれは芸術にとつて極めて厳しい時代に遭遇していますが、ここ数年で社会の中における音楽の立ち位置が明確になると思います。その時関西の、否日本の、世界の中で、まさに音楽の中心にある大学になっていくこと、それが私の描く大阪音楽大学の将来像です。

ダンスもまた外交の場を利用

1000年ほど前の中世ヨーロッパの教会音楽は「祈りの歌」に見られるように美しいメロデーとハーモニー（合唱）を育ててきました。ところが、それから600年ほど進んだバロック時代（1600年〜1750年）になるとダンスのリズムが脚光を浴びて、音楽も一変します。

④ はびきの市民大学・聴講記 西洋音楽史（講師・白石知雄）

バロック、ダンス「良き趣味」としての音楽



世界史と結びつけるバロックのころは絶対王政の時代。教会よりも王侯貴族が力を持つようになり、教会音楽もリズムカールになります。ゲオルク・ヘン

デルのオラトリオ「メサイア」のハレルヤ・コーラスを思い浮かべてみてください。物語仕立てになった新しいタイプの教会音楽の出現です。日本では関が原の戦いが繰広げられ、江戸時代が幕を開けたころのことです。

それではダンス音楽はどのようなして生まれたのか。当時は大航海時代。ヨーロッパの国々は競い

合うようにして、植民地を支配していました。そんな時代に生まれた「カナリオ」はアフリカの西側にあるカナリア諸島に由来するといわれています。ジャズのセッシヨンと同じ様に4小節のリズムパターン（低音）の繰り返し。20世紀のポップスの原理がこのころに始まりました。

スペインが火付け役とされるのは「フォリア」。南米をイメージしながら踊る熱狂的な曲。ギターの伴奏で演奏され、当時大流行しました。

中近東やアフリカ、新大陸アメリカの文化と交流しながら、信仰を離れた世俗的な場で発達した血湧き肉躍るダンスのリズムは、やがて宮廷の中でも流行するようになります。その集大成が17世紀の宮廷舞踊です。

太陽王と呼ばれたフランスの国王・ルイ14世はダンスですら自分の支配下に置き、人身掌握の手段として音楽を政治に利用します。娯楽のはずのダンスも貴族にとつては教養。外国の貴族たちも競ってダンスを習得せざるをえません。フランス料理が外交の場で供されるように、ダンスもまた外交の場に利用されました。

09年度入学式



晴れ晴れ525人

大阪音楽大学と短期大学の09年度入学式が4月1日、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。入学生は短大が音楽科198人、専攻科20人、大学が音楽学部226人、3年次編入36人、音楽専攻科30人、大学院15人の計525人。式は短大が午前11時、大学は午後2時から始まりました。



冒頭、G・ガブリエリの「サクラ・シンフォニア集 第1巻」より「第2番 第7旋法」による8声のコンサート。

好きなことにチャレンジし、新しい自分見つけて

6年後の2015年に創立100周年を迎える本学では、豊かな人間力と音楽力を備えた社会に誇れる人材を育てるために、授業や制度面で様々な施策を進めてきました。しかし、ここで大事なことは皆さんが自らに付加価値をつけるために、積極的な努力と協力を惜しまないでいただきたい、という事です。

例えば、演奏会における演奏者と聴衆の関係を思い出してください。演奏というものは、どちらか一方では成立しません。よい聴衆の前では演奏家はその聴衆によって鼓舞され、演奏はより輝きを増します。両者は互いに互



るときには多くの付加価値を身につけた人間として、社会にはばたいて行ってほしいのです。もう一つ、ぜひとも肝に銘じて置いていただきたいのは、心を大きく開いて様々な人、様々な音楽、様々な学問と出あって、幅広い出

会いの経験をしてほしいのです。ほんの小さな円を描いてそこに閉じこもるのではなく、より大きな円を描いたほうが、エネルギーや努力は必要であるとしても、はるかに深い穴が掘れるのは自明のことです。より大きな円を描き、音楽という世界の穴をより深く掘れるきっかけを本学でぜひつかんでください。

本学に入学してこられた皆さんは、本当に自分のやりたいことにチャレンジしようとしている人たちです。好きなことにどんどんチャレンジし、新しい自分を発見することに情熱を燃やしていただきたい。皆さんのご健闘を心から祈っております。

幼稚園は100人入園

付属音楽幼稚園の第42回入園式が4月5日に園内ホールで行われました。今年の入園児は年少組93人、年中組7人の計100人。「幼稚園ではお歌を歌ったり、お絵描きをしたり、楽しいことがいっぱいあります。皆さん元気に幼稚園に遊びに来てくださいね」と小畑有子園長。お父さんやお母さんには「幼稚園はお子様にとって集団生活の第一歩。新しい生活に馴染むには一人ひとりテンポが違います。園ではそれぞれに寄り添いながら、長い目でお子様の成長を支えていきたいと思えます」とあいさつ。お母さんコーラス「フルフル」の皆さんが園歌「ぼくたちはともだち」を歌い、新入園児を歓迎しました。



「幼稚園ではお歌を歌ったり、お絵描きをしたり、楽しいことがいっぱいあります。皆さん元気に幼稚園に遊びに来てくださいね」と小畑有子園長。お父さんやお母さんには「幼稚園はお子様にとって集団生活の第一歩。新しい生活に馴染むには一人ひとりテンポが違います。園ではそれぞれに寄り添いながら、長い目でお子様の成長を支えていきたいと思えます」とあいさつ。お母さんコーラス「フルフル」の皆さんが園歌「ぼくたちはともだち」を歌い、新入園児を歓迎しました。

6月・7月・8月 学校大阪音楽大学の催し

6月4日(木) 17時	2009年度 第2回ミレニアムピアノコンサート MH 演奏 北川恵美 植田定和	7月18日(土) 10時	指導者研修 合唱(応用編)① F号館434 講師 本山秀毅
6月4日(木) 18時	一般社会人のためのオペラ講座 OH 講師 中村敬一 加藤完二 安藝菜子 福島慶子 矢崎真理 梁川夏子	7月19日(日) 10時	指導者研修 合唱(応用編)② F号館434 講師 本山秀毅
6月6日(土) 14時	ミレニアムホール特別講座「弦楽四重奏曲の元祖・ハイドン」 MH 講師 日下部吉彦 演奏 赤松由夏 景山映子 上野亮子 山岸孝教	7月20日(月) 10時30分	指導者研修 合唱(応用編)③ MH 講師 本山秀毅
6月10日(水) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 ① さいかくホール 講師 赤松二郎	7月20日(月) 15時	指導者研修 合唱(応用編)修了演奏会 MH 出演 指導者研修受講生 ほか
6月11日(木) 19時	モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会 Vol.IX OH 指揮 小田野宏之 管弦楽 サ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ピアノ 木村直美 西本由香 横田知子 岸本雅美 岡原慎也	7月21日(火) 18時30分	オペラ物知り講座② この人でこのオペラ!「荒田祐子さんの場合」 MH 講師 中村敬一 演奏 荒田祐子 松田昌恵
6月12日(金) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 ② さいかくホール 講師 藤田隆	7月24日(金) 10時	指導者研修 様々な身体表現① C号館401 講師 橋本龍雄
6月13日(土) 18時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 田中郷子 關口康祐	7月25日(土) 10時	指導者研修 様々な身体表現② C号館401 講師 橋本龍雄
6月17日(水) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 ③ さいかくホール 講師 藤井快哉	7月26日(日) 10時	指導者研修 様々な身体表現③ C号館401 講師 橋本龍雄
6月19日(金) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 ④ さいかくホール 講師 草野道広	7月27日(月) 10時30分	指導者研修 合唱(基礎編)① F号館434 講師 里井宏次
6月22日(月) 18時	第22回ミレニアム・スチューデント・コンサート(第一夜) MH 要整理券 出演 選抜学生	7月28日(火) 10時30分	指導者研修 合唱(基礎編)② MH 講師 里井宏次
6月24日(水) 18時	第22回ミレニアム・スチューデント・コンサート(第二夜) MH 要整理券 出演 選抜学生	7月29日(水) 10時	オープンキャンパス 大阪音楽大学
6月24日(水) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 ⑤ さいかくホール 講師 井本英子	7月30日(木) 10時	指導者研修 ソルフージュ① D号館201,202 講師 駒井肇 長谷川慶岳
6月26日(金) 18時30分	「古今東西音楽考」その24 ⑥ さいかくホール 講師 田嶋直士	7月31日(金) 10時	指導者研修 ソルフージュ② D号館201,202 講師 駒井肇 長谷川慶岳
6月27日(土) 14時	卒業生による「若い芽のコンサート」 MH 出演 織田優子 高田直美 本家現代 金室ひとみ 内藤亜樹子 西田歩美	8月2日(日) 10時	指導者研修 ピアノ(基礎編)① F号館215 植田定和 ほか
6月27日(土) 14時	サマー・オペラ プレトーク「イドメネオ」の見どころ、聴きどころ OH 出演 児玉宏 岩田達宗 草野道広	8月3日(月) 10時	指導者研修 ピアノ(基礎編)②(応用編)① B号館205ほか 講師 植田定和ほか(基礎編) 浅井康子ほか(応用編)
7月2日(木) 18時	大阪音楽大学大学院2年生選抜演奏会 第17回Masters' Concert OH 出演 辻未帆 大島知子 栗田真希	8月4日(火) 10時	指導者研修 ピアノ(応用編)② F号館215 講師 油井美加子 ほか
7月3日(金) 18時30分	畑中良輔特別講座 日本歌曲100年の歩みを迎えて MH 講師 畑中良輔 演奏 加藤かお 福嶋勲 中村展子	8月4日(火) 10時	指導者研修 幼児音楽① C号館401 講師 井本英子 清水晶子
7月7日(火) 17時	第3回ミレニアムピアノコンサート MH 出演 西本由香 小杉裕一 木村綾子 永井正幸	8月5日(水) 10時	指導者研修 幼児音楽② C号館401 講師 井本英子 清水晶子 寺谷一紀
7月10日(金) 18時	第43回オペラ公演サマー・オペラ「イドメネオ」 OH 指揮 児玉宏 出演 小餅谷哲男 並河寿美 石橋栄実 草野浩子 清原邦仁 ほか	8月6日(木) 10時	指導者研修 幼児音楽③ C号館401 講師 井本英子 清水晶子
7月12日(日) 14時	第43回オペラ公演サマー・オペラ「イドメネオ」 OH 指揮 児玉宏 出演 小餅谷哲男 並河寿美 石橋栄実 草野浩子 清原邦仁 ほか	8月22日(土) 11時	高校生のためのオペラ講座① 大阪音楽大学 講師 中村敬一 加藤完二 荒田祐子 田中由也 矢崎真理 西尾麻貴
		8月23日(日) 11時	高校生のためのオペラ講座② OH 講師 中村敬一 加藤完二 荒田祐子 田中由也 矢崎真理 西尾麻貴

OH/オペラハウス MH/ミレニアムホール

コンサート・センターからお知らせ

■大阪音楽大学コンサート・センターでは、2009年4月から本学主催の演奏会開催日(本学内開催)に限り、開演時刻まで窓口
取り扱い時間を延長し、他公演の入場券の販売、発売を行います。これに伴い、演奏会場内での入場券の販売、発券はいた
しません。

コンサート・センター窓口でお求めください。

■本年度から本学学生出演の演奏会が一部有料になります。各演奏会の詳細とともにご案内いたします。

■電話、Fax、はがき、大学ホームページ等で入場券をお申し込みになり、郵送で受け取りご希望の場合、代金の振込手数料、送
料はおお客様のご負担となります。また、本学主催演奏会の「ご案内チラシ」のみ郵送ご希望の方も送料をご負担いただきま
す。詳しくは電話でお問い合わせください。

[大阪音楽大学コンサート・センター] 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 ☎06-6334-2242 Fax06-6334-2164

ザ・カレッジ・オペラハウスの催し



モーツァルトピアノ協奏曲 全曲演奏会 Vol.IX (最終回)

6月11日(木) 19時 全指定席
一般3000円 大学生・シルバー2000円
小・中・高校生1000円
指揮 小田野宏之 管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
W.A.モーツァルト:
3台のピアノのための協奏曲 第7番 へ長調 K.242
ピアノ 木村直美 西本由香 横田知子
ピアノ協奏曲 第14番 変ホ長調 K.449
ピアノ 岸本雅美
ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595
ピアノ 岡原慎也

大阪音楽大学大学院2年生選抜演奏会 第17回 Masters' Concert

7月2日(木) 18時 入場料1000円 自由席
指揮 小田野宏之 管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
F.F.ショパン:ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11
ピアノ 辻未帆
W.A.モーツァルト:モテット「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」
ソプラノ 大島知子
F.F.ショパン:ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11
ピアノ 栗田真希

第43回オペラ公演 サマー・オペラ モーツァルト・シリーズ

W.A.モーツァルト 「イドメネオ」 (原語上演・字幕付)

7月10日(金) 18時 7月12日(日) 14時 全指定席
一般7000円 シルバー6000円
小・中・高校生3000円

指揮 児玉宏 演出 岩田達宗
イドメネオ 小餅谷哲男 イダマンテ 並河寿美
イーリア 石橋栄実 エレットラ 草野浩子
アルパーチェ 清原邦仁 大司祭 柏原保典
声 周江平

◇お知らせ イダマンテ役が本誌204号でお知らせした諏訪部匡司さんから並河寿美さんに変更になりました。

合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団
管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
制作担当 草野道広 制作統括 本田耕一

サマー・オペラ プレトーク開催 [イドメネオ]の見どころ、聴きどころ

6月27日(土) 14時～15時50分
ザ・カレッジ・オペラハウス1Fロビー 入場無料

オペラハウスの「イドメネオ」初公演に賭ける指揮者、演出家らの熱い思いをじかに聞けるチャンスです。ぜひご参加ください。

出演 児玉宏 岩田達宗 草野道広

College Information

大阪音楽セミナー2009 “古今東西音楽考” その24
会場 さいかくホール 18時30分～20時30分
1講座500円 要聴講票
訂正 前号で1講座1000円とご案内しましたが、500円の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

第1日 6月10日(水) 講師 赤松二郎
「スーパー管楽器“サクソフォーン”の魅力」

第2日 6月12日(金) 講師 藤田隆
「こんなリコーダーが聴きたかった」

第3日 6月17日(水) 講師 藤井快哉
「華麗なるメンデルスゾーンの世界!」

第4日 6月19日(金) 講師 草野道広 「歌曲のロマン」

第5日 6月24日(水) 講師 井本英子 「ポピュラーピアノの魅力」

第6日 6月26日(金) 講師 田嶋直士
「知っているようで知らない『尺八』」

◆申し込み・問い合わせ先 エクステンション・センター ☎06-6334-2249
主催 大阪音楽大学 共催 大阪府 企画 大阪音楽大学音楽学研究室

ミレニアムホール特別講座

講師 日下部 吉彦 14時～16時 ミレニアムホール

第35回 6月6日(土) 「弦楽四重奏曲の元祖・ハイドン」
演奏 ヴァイオリン 赤松由夏 景山映子 ヴィオラ 上野亮子
チェロ 山岸孝教

第36回 9月12日(土) 『“恋人の楽器”フルートをヒロインに』
演奏 フルート 長山慶子

第37回 12月5日(土) 『シュベルト、歌曲の世界』
演奏 ピアノ 岡原慎也 バリトン 藤村巨人

第38回 10年2月27日(土) 『ショパンのふるさととは、やはりポーランド』
演奏 ピアノ 岸本雅美

受講料 4回一括3,500円 1回1,000円
*事前の申し込みが必要です。詳細はエクステンション・センターへ。
☎06-6334-2251

2009年度 ミレニアムピアノコンサート
～ピアノ教員による演奏会～

第2回 6月4日(木) 17時 入場無料
北川恵美 F.ショパン:バラード 第4番 へ短調 作品52 ほか
植田定和 M.ラヴェル:「鏡」より
おこわり 前号に掲載した末岡智子講師は都合により出演取り止めになりました。



北川恵美



植田定和

第3回 7月7日(火) 17時 入場無料
西本由香 小杉裕一 永井正幸 木村綾子



西本由香



小杉裕一



永井正幸



木村綾子

西本由香&小杉裕一 P.デュカス:魔法使いの弟子 ほか
永井正幸&木村綾子 S.ラフマニノフ:組曲 第2番 作品17

畑中良輔特別講座

第6回 7月3日(金) 18時30分～20時30分 ミレニアムホール
「新しき地平へ」と「新声会(そのI)」清水脩 柴田南雄
講師 畑中良輔 演奏 加藤かおり 福嶋勲 中村展子
受講料 2000円(学生1000円)
*事前の申し込みが必要です。詳細はエクステンション・センターへ。
☎06-6334-2249

オペラ物知り講座

7月21日(火) 18時30分～20時30分 ミレニアムホール
この人でこのオペラ!「荒田祐子さんの場合」
講師 中村敬一 演奏 荒田祐子 松田昌恵 受講料 1000円
*事前の申し込みが必要です。詳細はエクステンション・センターへ。
☎06-6334-2251

3月末に定年で退任された音楽学の高橋浩子教授(現・名誉教授)が3月13日、A号館301教室で最終講義を行いました。講義の後、「ばうぜ」でお別れ会が開かれ、菊一旭大さん(大4=当時)らから感謝の花束が贈られました。

「オペラハウスと 共に歩んだ20年」 高橋浩子教授が最終講義



「日本の中でどこにもないものをつくらう」という大学側の意気込みで、89年に竣工したザ・カレッジ・オペラハウス。柿落とし公演『ファルスタッフ』の解説を書くことから、

すばらしい人材も育つ

私の本格的なオペラとの付き合いが始まりました。ドイツ・オペラ・シリーズでは、日本語の訳詞を作成。当時珍しかった縦型の字幕をいち早く導入しました。企画や制作に

本格的に関わったのはブリテンの『アルバート・ヘリング』からで、昨年の『真夏の夜の夢』でちょうど十年。ブリテンに始まってブリテンに終わるはずでしたが、今秋上演するオネゲルの『火刑台上のジャンヌ・ダルク』も担当することに。オネゲルに決めたのは、今ようやく日本で20世紀フランスのオペラが注目され始めたからで、オペラハウスも20年を機に、新しいジャンル、新しい地平に飛び出したい、という願いがあります。振り返ると、ダラピッコラの『囚

オペラ「イドメネオ」の見どころ

サマーオペラ恒例のモーツァルトシリーズはオペラハウス開館20周年記念として、初めて四大オペラから外れ、モーツァルトが24歳で作曲した最初の充実したオペラセリア(正歌劇)「イドメネオ」を見玉宏・指揮、岩田達宗・演出でお届けします。

このオペラはこれまで日本ではあまり公演される機会がなく、一般的には馴染みの少ないオペラでしたが、ドラマと音楽の調和・荘厳なオーケストレーション・感情豊かな合唱など、四大オペラに引

初の見玉宏指揮

7月10・12日オペラハウス



指揮者の見玉宏氏(右端)を迎えてのハーサル

けを取らない魅力で近年高い人気を誇っています。古代クレタを舞台にしたドラマは父親(イドメネオ)としての愛情と神への責務がせめぎ合う悲劇の一面と、愛憎劇もドラマの重要な要素となっています。指揮の見玉はオペラハウス初登場ですが、30年以上のドイツでの経験を生かした音楽はドイツではもちろん、日本でもすでに高い定評があり、アリアと合唱がほとんどのこのオペラで、ソリストは当然ながら、オーケストラと合唱団との荘厳な音楽創りが楽しみです。ご期待ください。

(制作担当・教授 草野 道広)

われ人」と『夜間飛行』が印象に残っています。『夜間飛行』は音源もなく、どうしようかと思ったところ、オペラハウスのスタッフ、イタリアの放送局からわざわざ音源を分けてもらいました。一途な気持ちでいろんな人が動いてくれた思い出深い公演です。演出の中村敬一先生が、当時同時進行で新国立劇場でもオペラを演出。演目は何かと確かめて見たのが、松村禎三の『沈黙』でした。「何という作品だ。これをぜひやりたい!」と思い、20世紀オペラ・シリーズに組み入れました。『沈黙』はオペラハウスや新国立劇場で計6回の公演を行い、05年に文化庁芸術祭大賞を受賞。何回も練り直して凝縮されたときに初めて、お客さまが「よかったね」と言ってくださることを、つくづく感じました。

『金閣寺』の井原秀人さん、『沈黙』の石橋栄実さんら、オペラハウスから巣立ったすばらしい人たちは何人もいます。オペラハウスの運営は経済的に大変な面もありますが、若い人材を育成する場、大阪音楽大学の重要な広告塔です。「商業ベースでもなく、官庁ベースでもなく、大学ベースのオペラ上演を」という当初の志は、20年経った今も受け継がれています。

大阪音楽学校は約7年続いた大阪市南区塩町通から1922年(大正11年)7月31日に東区今橋2丁目へ。翌23年10月14日には永井幸次宅近くの同区寺山町へ移転。26年(大正15年)に味原校舎へ移るまでの約10年5カ月間はすべて借家の仮校舎。学校運営で辛酸をなめ、家庭は子だくさんのため、米だけで月一石二斗(約180キ)が必要だったという永井。米を買うのに他の学校の月給を吐き出してまだ不足。そんな中で、音楽学校を育ててきた仮校舎時代の足跡をたどりました。(文中敬称略)

校史点描

〈7〉

創立百周年に向けて

創立1周年記念演奏会は16年(大正5年)10月28日に土佐堀青年会館(大阪基督教青年会館)で、創立3周年記念演奏会は18年(大正7年)12月21日に大阪・中之島の同市中央公会堂でそれぞれ開かれました。中央公会堂は前月17日に落成したばかりで、音楽会は初めてでした。翌日の22日付大阪朝日新聞は「大阪中央公會堂開けてから初めての音楽會(中略)。主催は大阪音楽學校である。階下は勿論階上も鈴なりの盛況で(中略)」

設立三箇年幾多の辛酸を嘗め、迄達した永井校長の満足さこそと偲ばれた」と報道。

この演奏会で発表された永井作曲の「凱旋」は1曲だけのピース楽譜として翌19年(大正8年)2月15日に楽友会出版部から刊行。

楽譜売上金で学校経営

一部10銭で、59版を重ねて人気を呼びました。永井は「凱旋」を第1編として自作合唱曲

一石二斗と格闘

のシリーズを出版。さらに22年(大正11年)から自作を中心に「ささ舟」「影法師」などを集めた小学生向けの「唱歌新教材シリーズ」を出しました。

23年(大正12年)からは神戸時代の親友、田中銀之助と組み、永井、田中のイニシャルを取った「N・T楽譜」シリーズを出版。「舟遊び」を第1編として2人が作曲したものほかに、外国の曲に歌詞をつけたもの、既存の曲に和声をつけて合唱曲にしたものなど、バ



他校の月給もはき出し

ラエテイに富み、大正期だけで39編。昭和に入っても刊行され、これらの収益はすべて学校維持費などに充てられました。

一方、夜間でスタートした音楽学校は創立1年後の16年(大正5年)に昼間の生徒募集をしていま

す。広告を見ると、「晝間授業開始」として「臨時生徒募集」を大書。「女子選科(樂器ヴァイオリン、ピアノ、オルガン)等志願者ノ為メニ毎週火金両曜日午前八時ヨリ午後四時迄ノ間ニ随時教授ス但シ夜間ハ従前ノ通り」「各科トモ各専門教師手揃ヒトナレリ至急申込アレ」と書き添えています。

約5年後の21年(大正10年)4

月に、永井は大阪府立清水谷高等女学校を依願退職して非常勤嘱託になり、音楽学校運営に専念。そして、23年(大正12年)に新校舎実現を目指し動きだします。楽譜や「女子音楽教科書」の売れ行きは好調だったとはいえ、懐は相変わらず厳しかったと見え、25年(大正14年)7月9日付の大阪朝日新聞に永井が語った「一石二斗」の記事が掲載されています。

「『ボロの貸家にピアノとオルガンが並べてあるだけで、来て見て戴くといつてもどうも...』。大阪音楽學校の校長永井幸次氏がかう謙遜する。(中略)『家庭的? : 音楽の寺子屋です。さうです、何から何まで寺子屋です...』。永井氏が語り続けるこの寺子屋の部屋から廊下にかけて数十種、永井氏自作の楽譜が堆く積まれてある。その一部一部粒々辛苦零細な賣上金を集めて辛くもこの十年音楽學校を經營して來たのだといふ氏は『子供が多かったので米だけでも月に一石二斗これは他の學校から受ける月給を全部吐き出して足りなかった、それに子供の學費を送らねばならず...(中略)』と永井氏は一石二斗の悲しみを聞かせる」

記事は、味原池埋立地の新校舎で、10周年記念日を迎えることにも触れています。

ドイツのピアニストで、リュウベック音楽大学の教授などを務めたマンフレート・フォック氏が、公開レッスンをを行いました。フォック氏はドイツ青少年コンクール、スタインウェイコンクールなどの審査にあたり、各地のマスターコースの講師も務め、優れた指導

マンフレート・フォック氏 Manfred Fock

ピアノ特別講義

フォック氏はドイツ青少年コンクール、スタインウェイコンクールなどの審査にあたり、各地のマスターコースの講師も務め、優れた指導

聴講筒井良祐さん

(短2・ジャズ・コース)

ローランド芸術文化振興財団が主催するマスタークラスの「ジャズピアノセミナー」が3月21日、F号館434教室で行われました。講師は日本を代表するジャズ・ピアニスト佐山雅弘氏。作・編曲家としても高い評価を受け、ピアノを学ぶ私たち学生にとっては「雲の上」の人。大学、短大生14人も聴講させていただきました。

講義の最初はブロードウェイのミュージカル曲「All The Things You Are」(1936年)を題材に

もっとドラマチックに



者として活躍しています。

J・ブラームスの「ソナタ 第2番 作品2 第1楽章」でレッスンを受けた赤澤美有さん(大2・ピアノ)は、フォック氏から「表現は豊かですが、少し縮こまった印象を受けます。冒頭のアルペジオとそれに続くオクターヴのパッセージは、もっとエネルギーを持ってドラマティックに弾いてください。アルペジオは体の重みがあればよく鍵盤に入るように。オクターヴをアタックするとき、指が固

くなっています。もっと開放された状態で、手首でオクターヴをつかむつもりで弾いてください」などと指導を受けました。また曲想や表現について、フォック氏は「ブラームスは、一番緊張感のあるレガートを弾かなければいけない作曲家です。弦楽四重奏でチェロを弾くように、緊張感を持続させたレガートで弾いてください。長い音符とスタッカートとのコントラストを出し、休符で語ってください」などとアドバイスしました。

「脚韻」について。佐山氏は自ら歌いながら「日本人が日本語で歌う場合、歌詞の意味で歌っていますが、英語の歌詞はビートル

講師 佐山雅弘氏



ジャズ演奏の奥深さで痛感

ズやローリング・ストーンズに至るまで必ず韻を踏んでおり、大き

な違いがあります」と説明。ミュージカル・スタンダードを演奏するときは事前に歌詞を調べる、という佐山氏の姿勢にジャズ演奏の奥深さを感じました。実践編はサンバやボサノバのリズムを中心にアドリブ指導。セミナーの受講生が連弾でアドリブを試みましたが、それぞれに個性があり、アドリブで苦労している私には大変勉強になりました。「ジャズはスウィングしてアドリブすること」「少ない言葉で、より多くのことが

より多くのことが伝わるほうが洒落ている」という佐山氏の言葉が強く印象に残っています。

図書館がHP立ち上げ 幸楽会員にも貸し出し

大阪音楽大学付属図書館は4月21日からホームページを開設。図書館のバナーと、各付属機関・施設から開くことが出来ます。ホームページから図書館や音楽博物館、その他の所蔵資料検索(OPAC検索)も可能です。

ホームページの内容は図書館の概要やコンセプト、所蔵資料の概要、図書館の利用、OPAC検索についてなど。また、同20日から《幸楽会》会員に図書と楽譜の貸し出しを始めたこともホームページで周知していますのでご覧ください。URLは次の通りです。
<http://www.daion.ac.jp/toshio>

マンキャン



会い体験



定のイベントが急きょ、屋内に変更になるなどのハプニングも。

教員や学生リーダーが演奏する歓迎イベントですっかり心がほぐれた新入生たち。班ごとの発表会にも果敢に挑戦しました。「新しい友達もでき、様々な出会いを体験しました」とフレッシュマン。壮大な琵琶湖畔では将来の夢を語り合う姿も。



による
「レ・ミゼラブル」
x Ans De Flamme
一音一音魂を込め、
出すオーケストラ、そ

のオケにのり、時にその音楽を引き出し、舞台上で輝き、エネルギーを爆発させる歌手たち。そしてその皆さんをどっしりと支える誰よりも熱いスタッフ軍。年齢、専攻、部署を問わず仲間たちはオペラハウスという舞台で一体となり、革命を成し遂げます。私の学生生活はレミゼに始まり、レミゼに終わりました。

3月14日、15日 ザ・カレッジ・オペラハウス



レミゼでの経験と感動を胸に、私たちは明日を信じ、今日をめいっぱい生きていきます。そして私たちは誓いました。10年後にまたオペラハウスで…。

鈴木秀美と仲間たちによる

珠玉の室内楽

4月18日 ザ・カレッジ・オペラハウス



世界でも数少ないヒストリカル・クラリネット奏者、ロレンツォ・コッポラ氏が来日。バロック・チェロの名手で、近年はオリジナル楽器で古典派の演奏にも力を注ぐ鈴木秀美氏らと、W.A.モーツァルトの「クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581」、C.M.v.ヴェーバーの「クラリネット五重奏曲 変ロ長調 作品34」を演奏しました。ヴァイオリンは若松夏美氏、グーヤ・マルティニーニ氏、ヴィオラは成田寛氏。コッポラ氏は演奏前にレクチャーを行い、バセット・クラリネットなど1760年から1820年にかけて演奏され

豊かな音色に



会場うっとり

た4種のクラリネットを紹介。

モーツァルトは「クラリネット五重奏曲」をバセット・クラリネットのために作曲したといわれています。たとえば第1楽章。現在の楽譜では2オクターヴ下降したところで上昇に転じるパッセージを、3オクターヴ一気に下降するなど、コッポラ氏は自身の研究を織り込み、モーツァルトの音楽の自然な流れと響きを、バセット・クラリネットの豊かな低音と甘くやわらかな音色で蘇らせました。



3月23日 ミレニアムホール

2008年度 大学院演奏会 『SOU』～想・創・奏～

春風のように優しいC.グノーの「アヴェ・マリア」で始まった大学院演奏会。大学院開設40周年の節目の年、院生たちがこれまでの道筋と未来をつなぐ意欲的な演奏会を企画しました。テーマは『SOU』～想・創・奏～。ナビゲーターは管弦打研究の妹尾寛子さんです。最初は「想」。C.グノー、G.ヴェルディ、湯山昭が作曲した三つの「アヴェ・マリア」が、退任された高橋浩子教授に捧げて歌われました。続いて「創」。作曲



研究室、今井飛鳥さんの新作で、アルト・サクソフォーン、マリimba、ピアノに語りが入るパフォーマンスが意表をつく仕上がりに。次は「奏」。40年前、大学院初の演奏会で披露されたF.ショパンの「2台のピアノのためのロンド」が華やかに再現されました。

最後は「総」。間宮芳生のオペラ「昔噺《人買太郎兵衛》」です。狂言の所作や間を巧みに取り入れ、とぼけた味わいに情を忍ばせ、日本情緒豊かに上演されました。



新入生対象の「第18回フレッシュマンキャンプ」が4月4、5日、滋賀県高島市の奥琵琶湖マキノパークホテル&セミナーハウスで行われました。琵琶湖畔でのキャンプは今回が初めて。

今年は大学、短大の新入生147人と学生リーダー、教職員ら計193人が参加。初日は雨にたたられ、グラウンドで行う予



琵琶湖畔で出



「レ・ミゼラブル」公演を終えて
副指揮 山本芳美さん
(09年大卒 作曲)

昨年の夏、制作の伊藤法子さんが「オケの楽譜を書かれた先輩方と共演したい」と言った一言で、Dix Ans de Flamme (10年の炎) が立ち上がりました。初演でも指揮をされた大島弥州夫さんと共に音楽を作っていく作業は非常に濃く、10年の時が経った今でも「レミゼをオケで」という先輩方の熱い思いは、色褪せることなく私た

学生有志と卒業生たちによる 演奏会形式ミュージカル 10周年記念公演 主催 D

ち学生の心にも描かれました。その空気を、その空間を作り



中村恵理さん 英国でネットレプロコの代役

急遽主演の座 絶賛浴びる

新国立劇場オペラ研修所を修了後、海外で大活躍のソプラノ歌手、中村恵理さん（02年院修）が英国・ロイヤルオペラハウスJ.P.Y.A.P（ジエット・パーカー・ヤング・アーティスト・プログラム）に参加。09年3月7日に世界を代表するソプラノ歌手、アンナ・ネットレプロコの代役としてV・ベツリーニの「カプリーティ家とモンテッキ家」の主役ジュリエッタ役で急遽出演し、絶賛を浴びました。中村さんは「お客様はネットレプロコを見に来られたわけですから、ブライディングも覚悟してカーテンコールに臨みましたが、温かいお客様からの拍手喝采を頂き、人生最高の夜となりました」と話しています。

どの出演し、好評を博しました。その後、アテネ・メガロン歌劇場でモーツァルトの「魔笛」に出演しヨーロッパ・デビュー。タイではバンコクオペラの「ルクリー



聴衆のカーテンコールに応える中村恵理さん（英国・ロイヤルオペラハウス提供）

緊張の後「人生最高の夜」

シヤの凌辱」、オランダでは阿姆斯特ダムのコンセルトヘボウでコンサートに出演しました。

ロイヤルオペラハウスJ.P.Y.A.Pには08年9月から所属。ここでは毎年11月ごろオーディションをして歌手、指揮者、コレベティ、演出家らを採用しています。オラ

ンドのオペラスタジオ・ネザールにいた中村さんは07年、オーディションを受けるためロンドンへ。この時は歌手だけでも210人が応募。その中から中村さんら3人が選ばれ、同劇場で端役や主演のカバーを務めていました。

中村さんは今回の「カプリーティ家とモンテッキ家」にカバーとしてプロダクションに参加していたところ、ネットレプロコが突然キャンセルしました。彼女はロシア出身で、世界でもトップクラスのオペラ歌手。96年、05年、06年に来日し各地で公演しています。

「キャンセルの場合は、ほかの有名なソプラノを代役にするだろ

「緊張してうまくいかなかった、という言い訳は通用しないので、とにかくパニックにならないように、常に自分でコントロールしなくてはなりません。今回の出演は本当に神様からの贈り物でした。公演後もまだ、シーズン半ばですので、毎日楽譜とにらめっこしながら勉強しています」と胸の内を明かしています。

また、日常について「ロイヤルオペラでの生活は非常に忙しく、常に緊張とストレスの下に置かれています。しかしながら、世界一流の音楽家、スタッフが集まるロンドンでの生活は毎日が刺激的で活気にあふれています。今シーズンは六つのオペラ、それぞれ二つの歌曲リサイタルとシンフォニーなどたくさん作品に出会いました。準備している間は、声を失わないように注意したり、暗譜に苦労したり。しかし、公演後の

カーテンコールでお客様様が喜んでくださった時は本当にこのお仕事させて頂けて幸せだと毎回思います」とも。

4月にはロンドン・フィルハーモニーとG・マラーの「交響曲第4番」で共演。「これからも自分を磨き、心ある音楽をお届けできるように日々努力して参ります」と結んでいます。

戦前、戦後の混乱期に、花嫁として韓国に渡り、その後、身寄りがなく、祖国に帰る場所もない日本人女性を歌で慰めたい、とソプラノ歌手のキム・ケソン（金桂仙）03年大専修さんが3月23日から5日間、日本人女性が暮らす韓国・慶州の施設「ナザレ園」を訪問。その様子をMBSラジオが4月4日に特集1179「故郷の歌」として放送しました。キムさんは「日本で辛酸をなめた両親らに日韓国・朝鮮人1世の姿と重なる」と今回の旅に出発。約60年ぶりに日本の歌を耳にした女性たちは溢れる涙を拭おうとせず、「胸にきました」とマイクに語り掛けました。

望郷の日本女性に 海越え歌の贈り物

キム・ケソンさんが韓国の施設で

在日2世のキムさんは夫と2人で焼き肉店を小さな貸し店舗から始め、二人三脚で自前の店舗を2店持つようになりました。そして、47歳



日本人女性の前で歌うキム・ケソンさん（慶州のナザレ園で、毎日放送の坪井兵輔記者提供）

で本学短期大学部に入学。その後、学部に入籍して天野春美教授（04年に定年退職）に師事。音楽専攻科に進みました。「母・嫁・妻・女将」を優先し、5年ほど前からプロ歌手としても活躍。韓国歌曲の普及に力を入れています。

「重なる在日1世の姿」

ナザレ園は韓国の福祉事業家が72年に設立。終戦後も朝鮮戦争で世の中が混乱、韓国人の夫や子どもを見捨てる訳にはいかないと韓国に留まり、今では身寄り

がなくなったり、韓国社会に受け入れられず、帰国も出来なかったりした人たちを保護。これまで200人以上が入所し、現在は23人が暮らしていますが、平均年齢は87歳になるそうです。

大阪からフェリーで18時間かけて慶州のナザレ園に着いたキムさんは、23人の女性を前に「ふるさと」「夏は来ぬ」「赤とんぼ」など昔懐かしい童謡や唱歌を熱唱。また、キムさんが07年にリリースしたオリジナル曲「マウメコヒヤン」（心の歌）も紹介しました。キムさんは「本当に来てよかった。こんなに皆さんが喜んでくれるとは思いませんでした。生きる励みになればと思います」と話していました。

提携校のワイマール・リスト音楽大 校舎に歴史 街は世界遺産

大阪音楽大学が先に提携調印したドイツのワイマール・リスト音楽大学Ⅱ写真、本誌205号に一報Ⅱについて紹介します。

四つ目の提携校になる同音楽大学は世界遺産に登録されているワイマール市にあります。作曲家のリストが提唱し1872年に設立。

学生約850人、教員約250人で、大学と大学院があります。

学科は作曲、弦楽器＋ハーブ、管打楽器、指揮、声楽・舞台、ジャズ、ギター、鍵盤楽器、中世音楽、教会音楽など。リストが住んだ家を博物館として開放。図書館、劇場、ホール、学生寮、託児所、

カフェテリア・食堂、語学センターなどがあります。

校舎はバロック様式の歴史的建物を利用しています。大学は五つの国際コンクラー



ルを主催し、毎年夏には高名な音楽家を講師に迎え、様々なサマーカーコースが設けられ、リスト博物館

では毎年春にピアノアカデミーが開催されるなど教員や学生による約260のコンサートやイベントが行われています。

シラー、ゲーテ、バッハ、リストが活躍した歴史的に重要な街で、バッハはここで宮廷オルガニストと宮廷楽長を務め、多くのオルガン曲を作りました。リストも宮廷楽長や国立劇場の監督を務めました。また、この国立劇場でヴァーグナーの「ローエングリン」の世界初演が行われました。

授業紹介 大学院「芸術文化の諸相」

大学院「芸術文化の諸相」の前期講師は鈴鹿短期大学学長で宇宙物理学者の佐治晴夫氏。東京大学物性研究所、玉川大学教授などを歴任。宇宙創生理論のほか、77年にNASAの太陽系・外惑星探査機のボイジャー打ち上げに関わり、地球外知的文明E・Tとの交信に音楽を使うことを提案。未知との遭遇を想定してバッハのプレリュードを搭載したことで知られています。講義は計7回。今号では4月17日の「宇宙とは何か。『無』からの開闢が意味するもの」と5月8日の「ヒト、人、人間から見えてくる芸術の光」を抄録しました。

◀5月8日 宇宙物理学者 佐治晴夫講師 4月17日▶

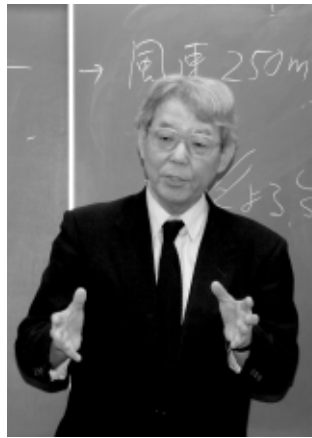
自己紹介と月から地球を見た映像などを交え「今年はサクラの満開と満月が一致。花びらは今この瞬間ですが、38万^キ離れた月の光は1秒前のもの。振り返り見るオリオンは15000光年、つまり1

今回は講義の中から言葉のすごさと危うさについてまとめました。「人間とゴリラとの違いは言葉の発明です。しかし、大勢の女性を一括して『女性』と言われると女性には迷惑な話です。言葉は便利

500年前の姿を今見ているわけです。星を見ることは時間の厚みと空間の厚みを同時に見ることで。そして、芭蕉と蕪村が月を詠んだ俳句を例に、芭蕉は時間的深まりを追求、対する蕪村は絵画的

月がなければ音楽もなかった

広がり表現していると解説。また、月がなければ音楽はなかった、と指摘、では月はどうして



であると同時に不便です」

では、人間の特徴とは何か。「考えることが出来る唯一の哺乳類で

出来たのか? 「約40億年前、地球に小惑星がぶつかり、破片が飛び散って出来ました。その衝撃で地球は23・5度傾き、春夏秋冬の四季があるようになりました。また、月の引力で、傾いてぐらぐら

する地球が一定になつたのです」

「月が出来る前、地球の自転は1日9時間。出来てから24時間に。9時間の時は風速250^ノの大嵐。しかも、ものすごく大きな音なので、交信や会話は不可能。だから音楽はなかった。これが結論です」

月の裏側が見られないのは引力

言葉の持つすごさと危うさも

「ミカン

であると同時に不便です」

では、人間の特徴とは何か。「考

えることが出来る唯一の哺乳類で

であると同時に不便です」

では、人間の特徴とは何か。「考

えることが出来る唯一の哺乳類で

のため。また、月は1年に3^チずつ地球から遠ざかっています。地球では6500万年前、星の衝突で恐竜が絶滅した跡がユカタン半島(メキシコ)で見えられおり、36年4月13日には天体が衝突するとも。「直撃すると日本列島は高さ150^ノの津波を受け全滅するが、これを避ける手段もあります」

08年10月6日には、地球に向かう星を発見。7日午前11時45分28秒にスーダン上空で激突と予測。実際との誤差はわずか2・5秒。

「科学は万能ではありませんが、流言に惑わされず科学を信頼して欲しい」と締め括りました。

です。言葉の前に音があるということですね」

「また、赤ちゃんやネコは絶対音感を持っていますが、赤ちゃんは言葉が覚えると絶対音感が鈍ってきます。絶対音感形成には早期教育が必要だという意味もそこから見えてきます。ネコは言葉をもちませんから、名前よりも、その音程だけで認識しているようです。

音は哺乳類にとって、最も根源的なコミュニケーション手段だということ。みなさんが、音楽を学んでいることの意味はそこにあるということをしつかりと覚えておいていただきたいですね」

卒業生 短大・修了生 神戸親和女子大に 推薦で3年次編入

大阪音楽大学短期大学部は09年度の卒業・修了生から神戸親和女子大学（山根耕平学長）の第3年次推薦編入試験に出願（専願）できるように5月2日付で、同女子大学の山根学長と中村孝義学長が「編入学生の推薦・受け入れに関する協定書」に調印しました。

短大生（専攻科含む）の卒業後進路の選択肢を広げるのが目的で、編入先の同女子大学の学部・学科は文学部の総合文化学科と発達教育学部の児童教育学科、心理学科、福祉臨床学科、ジュニアスポーツ教育学科で、いずれも若干の人数。同大学を卒業すると、各学科によって異なりますが、中学校教諭、高等学校教諭一種免許状（国語、英語ほか）、小学校教諭、幼稚園教諭一種免許状や司書、司書教諭などの免許・資格を取得することができますようにあります。

出願資格は①大阪音楽大学短期大学部を10年3月卒業（修了）見込みの者②大阪音楽大学短期大学部学長の推薦を受けた者③神戸親和女子大学を特に志望する者（合

格すれば必ず入学する者）。推薦基準は短大（第1・2・3セメスター）で専門実技またはテーマ研究を含めた全科目の平均成績が3・

免許・資格の取得可能に

8以上の者。ただし、教職に関する科目は算入しません。推薦方法は同女子大学を特に志望する女子学生で、推薦基準を満

たした出願希望者全員に本学で面接した上で、同女子大学への編入学推薦者を決定します。推薦者の出願書類は本学で取りまとめ、同女子大学へ提出します。申込方法、期間、面接実施日などの詳細は改めて掲示などで発表します。

一方、大阪音楽大学も同女子大と連携し、08年度から通信教育発達教育学部児童教育学科（初等教

育学コース）と小学校教諭免許状（二種）取得プログラムをスタートさせ、現在、本学の2、3年生各4人が通信教育を受けています。

大阪音楽大学短期大学部は09年度のピアノコース入学者で、所定の要件を満たした学生に卒業時、カワイピアノグレード6級を認定できることになりました。3月26日、河合楽器製作所の池戸工関西支社長と中村孝義学長が学長応接室で協約書に調印しました。

認定はカワイピアノ演奏グレード6級と同指導グレード6級。認定基準はカワイグレード学内認定要項による学内評価に基づきます。演奏グレード6級は課題曲がピアノAI、自由曲がピ

年間3回祝日に授業 夏休みにも全館閉鎖

本学は09年度から年間3回、祝日に授業をすることになり、1回目を4月29日（昭和の日）に実施しました。日曜を除く各曜日それぞれ年間30回の授業日数を確保するためです。次は7月20日（海の日）と10月12日（体育の日）。

また、文部科学省が推進する省エネルギー対策の一環として8月13日―18日の6日間を全館閉鎖にします。これまでの全館閉鎖日は9月1日（職員研修日）と、12月31日―1月3日でしたが、新たに夏休み中の8月を加えました。

ピアノIIまたはAIII、伴奏づけが作曲法Iで、いずれも秀または優。指導グレード6級は筆記、和声が音楽理論III〜VIのうち、いずれか1科目。単旋律聴音はソルフェージュIII〜VIのいずれか1科目。全て秀または優。二つとも10年中に予定している特別講習の受講（無料）が必要です。

学内認定を希望する学生はエクステンション・センターへ「カワイピアノグレード学内認定書発行願」を申し込み、認定書と受験申込書のカワイグレード認定委員会事務局に提出してください。

カワイピアノグレード6級 10年度から本学でも認定 短大ピアノコース対象



協約書に調印し握手を交わす
池戸工関西支社長（右）と中村孝義学長

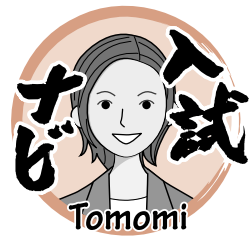
実施日 8月2日(日)
申込期間 6月30日(火)～7月6日(月) 必着
 高校3年生の方は公募推薦入学試験前の最後のテストになります。

第57回音楽基礎科目到達度テスト

実施期間 7月30日(木)～8月1日(土)
申込期間 6月30日(火)～7月6日(月) 必着
対象 音楽大学を目指す高校1年生以上の方
開講科目 受験入門講座、ソルフエージュ(旋律聴音・新曲視唱)、楽典、鍵盤楽器(副科)、実技レッスン、音楽基礎知識講習

受験講座(夏期)

参加しましょう。それらの経験は人生を豊かにするだけでなく、面接試験に臨む際、自己PRの重要なポイントになるでしょう。



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。高校生のみなさんは、専門実技や音楽基礎科目の勉強はもちろんです、学校行事や課外活動にも積極的に

公開授業や体験授業などを実施します。内容はホームページ、進学ガイドブックをご覧ください。

大阪音楽大学 短期学部 音楽科	志願者数	合格者数
作曲コース	0	—
声楽コース	2	2
ピアノ・コース	2	1
管楽器コース	1	1
弦楽器コース	0	—
打楽器コース	0	—
邦楽コース	0	—
ジャズ・コース	募集していません	—
ポピュラー・コース	募集していません	—
ミュージカル・コース	0	—
電子オルガン・コース	募集していません	—
合計	5	4

大阪音楽大学 音楽学部	志願者数	合格者数
作曲学科	3	0
作曲専攻	3	0
音楽学専攻	0	—
声楽学科	6	3
器楽学科	8	4
ピアノ専攻	2	2
オルガン専攻	1	1
管楽器専攻	4	1
弦楽器専攻	1	0
打楽器専攻	0	—
邦楽専攻	0	—
合計	17	7

大学院音楽研究科 専攻	志願者数	合格者数
作曲	2	2
音楽学	0	—
オペラ	1	0
歌曲	5	1
ピアノ	5	3
管弦打	5	3
合計	18	9

3月に実施した大学・短大の一般入学試験B日程と大学院入学試験後期日程の結果をお知らせします。

オープンキャンパス(7月29日)
09年度 入学試験結果
 公開授業や体験授業などを実施します。内容はホームページ、進学ガイドブックをご覧ください。

「こども音楽教育講座 無料体験受講」レポート
 4月18日・25日の両日、付属音楽院のこども音楽教育講座の無料体験受講を実施しました=写真。

するなど、こどもが音楽を始めやすい環境を提供。申し込みが多く寄せられ、キャンセル待ちが続出することになりました。また、「こどもの弦楽合奏」=写真=も人気の高かった講座。初めてヴァイオリンを手にするというお子様が、お母さんたちと一緒に持ち方の指導を受けながら、初めての演奏を体験しました。

個人レッスンは随時受付中
 音楽院の個人レッスンは、4歳以上ならいつからでも始めていただけます。楽器やジャンル、レッスンの目的やレベルなど幅広く対応が可能です。「音楽」を習いたい方は是非ご相談ください。

音楽院のひろば

7月の特別講座
9日(土) 15時30分～17時
音楽と人間、その原風景と現風景
受講料:2,000円
(会員、本学学生は1,000円)
 西岡信雄名誉教授が世界各地で取材した貴重な映像を使用し、今なお残る「音

パンフレットのご請求、お申し込みは大阪音楽大学付属音楽院
 〒561-8555豊中市庄内幸町1-1-8
 TEL 06-6334-2909 FAX 06-6334-2675
 URL <http://ongakuin.jp>
 E-mail ongakuin-support@daion.ac.jp
 窓口・電話受付時間 月～土:10時～17時
 日曜・祝日はお休みです。

クラリネット界 フランスの至宝 ランスロ氏を偲んで

99年2月7日、パリのサンクルー病院でフランス・クラリネット

教授 本田耕一



76年冬、ルーアン音楽院のレッスン室で本田耕一教授(右)とランスロ氏

界の至宝、ジャック・ランスロ氏が享年88歳で逝去された。

1920年フランスのルーアンに生まれ、フェルナン・ブランシエの教えを受けた後にパリ音楽院でオーギュスト・ペリエに師事。ラムール管弦楽団ソロ・クラリネット奏者、ギャルド・レプビュリケース吹奏楽団ソロ・クラリネット奏者、フランス木管五重奏団クラリネット奏者を歴任。教育者としても国立ルーアン音楽院や国立リヨン音楽院の教授を務め、多くの優れたクラリネット奏者を育てた。多くの著書と録音を残しているが、中でもモーツァルトの協奏曲と五重奏、ブラームスの五重奏の演奏は名盤として高く評価され、

71年には世界初演を果たしたジャン・フランセの協奏曲でディスク大賞を受賞した。

本学には92年に大学院生を中心とした連続特別講義で来校されたのが最後となった。

私がランスロ先生に出会ったのは大阪音楽大学付属高校1年生、15歳の時であった。公演で来日中に開催された公開レッスンの受講生に選ばれ、先生から直接指導を受けるという幸運を得た。通訳してくださったのは現ビュッフェ・克蘭ボン株式会社社長の保良徹氏。レッスン終了後にランスロ先

生から「フランスに来て勉強しないか」と声をかけて頂いた日から5年後には先生のクラスにいた。

先生のレッスンは隔日で週3回、まさに修業という日々。先生の下で学んだ3年間で私の音楽の礎となり、今日に続いている。

レッスン室の窓に射す日の光に喜び、バレリーナのように軽やかに踊り、顔を真っ赤にしながら熱い歌を唄って、楽譜を「読む」ということ、音楽を「表現する」ということ、たくさんの引き出しを得ることができた。

先生は永遠の「少年」で「情熱の人」であった。感謝の気持ちとともに、少しでも先生の教えを伝えていければと改めて思う。

評議員の露の五郎兵衛氏死去

大阪音楽大学評議員で元講師の落語家、露の五郎兵衛(本名・明田川一郎)氏が3月30日、多臓器不全のため死去。77歳でした。告別式は4月14日、大阪市阿倍野区同市立葬祭場やすらぎ天空館で営まれました。

露の氏は7歳で映画出演。1947年に二代目桂春団治入門。桂春坊、小春団治を経て、68年に二代目露の五郎を襲名。94年から

音楽博物館に案内板

大阪府豊中市名神口の音楽博物館(本岡浩子館長)に新しい案内板がお目見えしました。設置されたのは音楽博物館西側の道路沿い。阪神高速道路の下を走る車からも見えるように縦1・



4メートル、幅9・7メートル。布製で中央に大きな字で「世界の楽器1000点。大阪音楽大学 音楽博物館」とあります。また文字の左右には蛇の形をした低音楽器セルパンなど、博物館所蔵の楽器を写真であしらっています。

大学院で講義



本学大学院で講義する露の五郎兵衛氏(04年6月11日)

03年まで上方落語協会会長を務め、05年10月、上方落語の祖とされる

元禄時代の名跡、露の五郎兵衛を襲名しました。

本学では94年から現在まで評議員、04年には1年間、講師を務め、大学院の芸術文化の諸相で「上方噺の歴史」と題し、計6回にわたって講義しました。また、地方自治体、企業などで人権啓発、高齢者の生きがいテーマに講演会活動をしていました。

受章は大正文化賞、60年度文化庁芸術祭賞、大阪市民文化功労賞など多数。00年には紫綬褒章を受章しています。

コンクール 敬称略

■第22回京都芸術祭 イタリア～
日本音楽の架け橋 音楽部門 コミュニティ賞 フルートアンサンブル「SAKURAjeune」コンサートマスター・平岡洋子講師、安藤真子(03年大卒)、石井陽子(07年大卒)、長谷川美聡(08年大卒)、松林靖子(98年大卒)、山下久美子(03年大卒)、内宮千尋(06年短卒)、河合佑美(01年



戸田恵



前列左から長谷川美聡、松林靖子、平岡洋子講師、川端裕美、河合佑美、後列左から内宮千尋、石井陽子、碩ゆかり、安藤真子、山下久美子、井上明子

短卒)、川端裕美(98年短卒)、碩ゆかり(99年短卒)、井上明子(客演、86年大卒・打楽器)=イタリア・アルパ音楽祭での演奏を評価。12月23日、京都芸術祭実行委員会主催

■第27回滋賀県ピアノコンクール本選 学生・一般の部 2位(1位なし) 戸田恵(大3・ピアノ)=1月25日、しが県民芸術創造館ホール。滋賀県文化振興事業団主催

■第29回来音会ピアノコンクール F級部門 銀賞 金岡宏美(大3・ピアノ)=3月26日、池田市民文化会館。来音会主催

《注》学年は受賞当時

いものも多く、音楽と人類のかかわりを知るためには貴重な資料。各地の博物館からも貸し出し依頼があるほどです。

その一つ、牛の鳴き声をするスペインの摩擦太鼓「サンボンバ」(写真①)。同種の太鼓はヨーロッパ全域で使われていて、クリスマスから新年にかけて豊年を祈るキヤロルの伴奏に登場します。「サ

「楽器を持った人形は奏法、奏者の性別や職業、合奏時の編成など、楽器自体にはない情報を提供してくれる貴重な資料」と西岡さん。音楽博物館では燻蒸作業などが終わり次第、順次公開する予定。

西岡信雄名誉教授

現地調査20余年



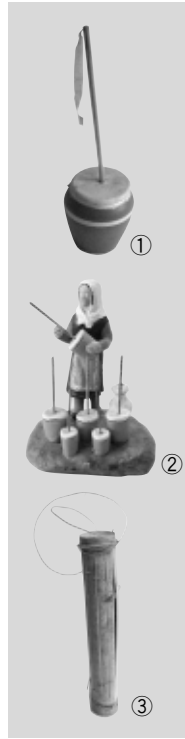
西岡信雄名誉教授(前理事長)が4月30日、世界の楽器や楽器を持った人形など計3050点を音楽博物館に寄贈しました。これらの楽器の中には手に入らな

音楽博物館へ

楽器、人形3050点寄贈

に取り組み、この二十数年間に訪れた国は約40カ国。手に入れた楽器は1494点、楽器を持った人形599群、1615点にのぼっています。今回はこの中から第一期分として楽器1450点と人形1600点が寄贈されました。

ンボンバを売る人形」(②)からその奏法を知ることができます。東マレーシアのカタザン族に伝わる「トクンゴン」(③)は最も原始的なコト。弦と胴が一体の竹でできており、今も祭りなどで使われているそうです。



被爆ピアノコンサート



山田紗耶加さん
8月1日に大阪で

よみがえりました。コンサートは14時間演。絵本「ミサコの被爆ピアノ」(松谷みよ子作)の朗読や山田さんのピアノ演奏などがあります。曲目は「綿のぼうし」「エリーゼのため」「崖の上のポニョ」「千の風になつて」など。会場ではフリージャーナリスト、西谷文和さんの「イラクの子どもの写真展」も開催します。「平和と国際児童文学館の存続を願い、心をこめて演奏します」と山田さん。

広島「被爆ピアノ」に捧げるため自ら作曲した「綿のぼうし」を携え各地で演奏会を開いている山田紗耶加さん(79年短大卒・音楽専攻)が8月1日、大阪府立国際児童文学館(吹田市千里万博公園内)で夏休み企画「被爆ピアノ平和コンサート」を開きます。

先着150人。入場無料(整理券必要)。問い合わせ、申し込みは FAX 072-736-1547

メール hibakupiano@yahoo.co.jp

大阪音楽大学後援演奏会

- 第25回大音コンサート
6月13日(土)13時30分 秋篠音楽堂 2500円
馬場喜子 村田宜子 熊本裕美子
ヴォーカルアンサンブルNARA 新卒生 ほか
メンデルスゾーン:ピアノ三重奏 作品49 ほか
☎0742-22-2660 石原

《幸楽会》後援演奏会

- 川西音楽研究会 第21回演奏会
6月7日(日)13時30分 川西市みつなホール
一般1500円 小中高生・障害のある人1000円
水間泉 坂口有子 田中里歌子 松岡淳子
津積英子 三田村桂子 立柳千子 服部祐子
津留郁子 作田郁代 竹村美和子 村崎愛
☎072-793-0337 川西音楽研究会

大阪音楽大学指導者研修

- 幼稚園、小・中・高校の先生方や合唱団などを指導されている方々を対象に「わかりやすく、短期間で身につく研修」を行います。
■様々な身体表現 「鑑賞にリンクした表現の追究」
企画・担当 橋本龍雄 7月24、25、26日 受講料13500円(本学在學生6750円)

2009 College Announcer

09年度の学内放送アナウンサーが決まりました。授業期間中の月曜日から木曜日の昼休み時間、演奏会や就職セミナーの案内など、学生生活に役立つタイムリーな情報をお知らせします。ぜひチェックしてください。昨年11月から、月毎にテーマミュージックが変わっているのにお気づきですか。4月はメンデルスゾーン。5月はハイドンでした。さて6月は？

Monday 山崎太郎さん(大4 声楽)
Tuesday 大岡 紘さん(大4 声楽)
Wednesday 伊豆田佑香さん(大3 声楽)
Thursday 杉山恵梨さん(大3 ヴァイオリン)
Includes photos and short bios for each announcer.



学生オペラ「Tutti 2009」
オペレッタ「ジプシー男爵」



リポーター 小川富久子(大4・音楽学) 「素晴らしい作品になり学生みんなに感謝」

5月の爽やかな季節と共に、今年も「Tuttiオペラ2009」が5日にザ・カレッジ・オペラハウスで幕を開けました。演目はJ.シュトラウス作曲の「ジプシー男爵」です。手の込んだ舞台や小道具、

計算された衣裳、照明の絶妙な変化、そして美しく軽やかな音楽は見る者を一瞬で惹きつけました。そのどれもが夢のようなコミカルな世界を見事に演出していました。オペラハウスは熱気に包まれ、

学生の熱い姿は見る者を素直に感動させました。誰もがその時間を楽しみ、それは本当に素晴らしい作品となりました。そう感じさせてくれた学生たち全てに感謝したいと思います。

オペラハウスで附属音楽幼稚園
元気いっぱい「楽しみまショー」



大阪音楽大学附属音楽幼稚園の「楽しみまショー」が3月7日、ザ・カレッジ・オペラハウスで催され、園児たちは元気いっぱいに劇あそびなどを披露しました。

劇あそび「わたしとあそんで」で幕開け。お母さんコーラス フルフルの「イエスタディ・ワンス・モア」のコーラスを間にはさみ、歌あそび「クレヨンくるくる！」やリズム遊び「おもちゃのチャチャチャ」のほか、年長組が「ねこふいちゃった」などをリコーダーで合奏しました。



「オーケストラの日」のオペ管
豊中市庁舎でロビーコンサート

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団はオーケストラの日の3月31日、豊中市役所第二庁舎の「市民ロビーゆうゆうコンサート」で演奏しました。
同管弦楽団は08年4月に社団法人・日本オーケストラ連盟の準会員に加入。初めて迎えたオーケストラの日に地元での演奏会を計画。
W・A・モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章、J・S・バッハの「G線上のアリア」に続いて、ソプラノの三河紀子さん(00年院修)ら3人がJ・シュトラウスの「春の声」などを披露しました。

次号発行予定7月22日